

【概況】 6 月 9 日に行ったプランクトン調査(燧灘)の結果についてお知らせします。

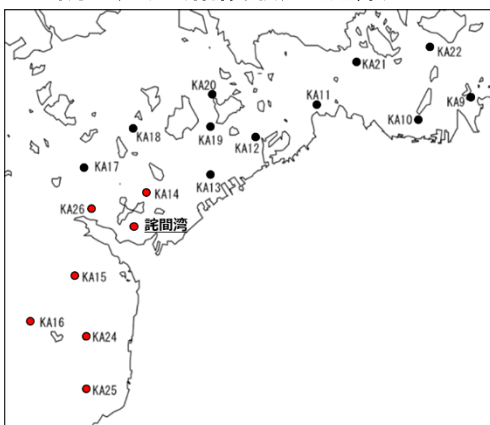
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ・マリーナの出現が確認されましたが低密度でした。
- ・貝毒の原因となる有毒プランクトンは確認されませんでした。
- ・小型珪藻類は低密度でした。
- ・その他、低密度ながらヘテロシグマ・アカシオの発生が確認されました(33 細胞/mL; 定点 KA25)

表：2022 年 6 月 9 日有害プランクトン調査結果（海水 1 ミリリットルあたりの細胞数）

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ 3 種合計値	カレニア・ミキモトイ	ココロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	アレキサンドリウム属
KA14	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
KA15	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
KA16	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
KA24	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
KA25	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.7	0.0	0.7	0.0	0.0	0	0
KA26	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
詫間湾	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0
	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0	0

\* シャットネラ属、カレニア・ミキモトイ、ココロディニウム・ポリクリコイデスの細胞密度は 3 回計数した平均値を記載しています。

図：調査定点(備讃瀬戸・燧灘)



【参考】 香川県の有害プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモトイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
ココロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL

\* 赤潮定期調査(燧灘)は合計 7 定点 (KA14、15、16、24~26、詫間湾)で行っています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471